

2019年度 講義概要（シラバス）

| | |
|-----------|---|
| 科目名 | ひろしま論 |
| 担当者 | 学長 他 |
| 履修時期 | 前期 |
| 履修対象 | 1・2年次 |
| 概要 | 「授業形態：講義」 広島県の歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識をもった人材を育てることを目的として講義する。また、国際平和文化都市広島県の原点である被爆体験および広島県からの平和の取り組みについて講義する。 |
| 到達目標 | 広島県について有識者から広く、深く学ぶ事により、自らが社会の一員として貢献する事の意義を考え、専門分野の教育を受ける前提となる基礎的な教養を身につける。 |
| 受講要件 | 講義は国際、情報、芸術、平和の各領域において最も適切なテーマを設け、それぞれのテーマごとにその道に造詣の深い専門の講師により授業が行われるので、すべての授業に出席することを特に要望する。 |
| 事前・事後学修 | 講義中に紹介された文献を読んだり、関連する情報にアクセスしたりして、主体的に学修を深めること。 |
| 講義内容 | <p>第1回 広島県立大学で学ぶということ 【講師 若林真一：広島県立大学学長】</p> <p>第2回 7つのエピソードで読み解く広島県の都市空間 【講師 國本善平：広島県立大学特任教授】</p> <p>第3回 国際平和とはなにか～国際関係の変容と広島県の視点～ 【講師 大芝亮：広島県平和研究所所長】</p> <p>第4回 広島とスポーツ 【講師 曾根幹子：広島県立大学名誉教授（元走り高跳び五輪代表）】</p> <p>第5回 広島県の平和のメッセージを世界にそして未来世代に 【講師 小溝泰義：広島県平和文化センター理事長】</p> <p>第6回 広島県のこころとデザイン 【講師 山田晃三：(株)GK デザイン機構取締役相談役】</p> <p>第7回 広島県の未来について 目指すべきまちの実現に向けて～200 万人広島県都市圏構想～ 【講師 松井一實：広島県市長】</p> <p>第8回 ヒロシマの美術～破壊と蘇生～ 【講師 竹澤雄三：美術評論家】</p> <p>第9回 瀬戸内・たべものがたり～風土・歴史をひもとく～ 【講師 小沢康甫：広島県民俗学会理事】</p> <p>第10回 続く「核」脅威の下で～被爆体験の意味と広島県の若者・メディアの役割～ 【講師 田城明：(株)中国新聞社客員特別編集委員】</p> <p>第11回 ヒロシマと映画 【講師 佐藤武：広島県映像文化ライブラリー主任】</p> <p>第12回 広島県から宇宙を観る 【講師 傘田泰三：公立大学法人広島県立大学理事】</p> <p>第13回 広島県ゆかりの作家 【講師 松本洋二：公立大学法人広島県立大学経営協議会委員】</p> <p>第14回 広島県からグローバルへ～「走る歓び」で世界へチャレンジする～ 【講師 中島徹：マツダ(株)グローバル販売&マーケティング本部長】</p> <p>第15回 広島「記憶と創造」のまちづくり 【講師 大井健次：広島県立大学名誉教授】</p> <p>*講義内容、講義順については変更する場合がある。</p> |
| 評価方法 | 毎回、所定の受講票に感想等の記入を課す。受講票の提出は、講義終了後退室するまでとし、後日提出は認めない。受講票不提出は欠席として扱う。 成績評価は、各回の感想等を内容と分量により0点から4点の範囲で採点し、その合計点により評価する。 6回以上欠席した場合は、「欠席による不可」とする。 |
| 教科書等 | 教科書：特に指定しない。 参考書：講義内で参考文献を適宜指示する。 |
| 担当者プロフィール | |
| 備考 | |